

統計トピックス No. 149

統計からみた我が国の高齢者

－「敬老の日」にちなんで－

総務省統計局では、「敬老の日」（9月21日）を迎えるに当たって、統計からみた我が国の高齢者のすがたについて取りまとめました。

内 容

I 高齢者の人口（人口推計 2026年9月15日現在）（2ページ～）

- 65歳以上人口は3624万人と前年に比べ2万人の増加
総人口に占める割合は29.6%と過去最高
- 日本の65歳以上人口の割合は、世界で最高（39か国中）

II 高齢者の就業（労働力調査）（6ページ～）

- 65歳以上の就業者数は、22年連続で増加し943万人と過去最多
- 就業者総数に占める65歳以上の就業者の割合は、13.8%と過去最高
- 65歳以上の年齢階級別就業率は、いずれも過去最高に
- 日本の65歳以上の就業率は、主要国の中でも高い水準
- 65歳以上の役員を除く雇用者に占める非正規の職員・従業員の割合は76.1%
- 主な産業別に65歳以上の就業者数をみると、「卸売業、小売業」や「医療、福祉」などが多い

I 高齢者の人口

65歳以上人口は3624万人と前年に比べ2万人の増加
総人口に占める割合は29.6%と過去最高

我が国の65歳以上人口（2026年9月15日現在推計）は、3624万人と、前年（3622万人）に比べ2万人の増加となりました。総人口に占める割合は29.6%と、前年（29.4%）に比べ0.2ポイント上昇し、過去最高となりました。

男女別にみると、男性は1571万人（男性人口の26.3%）、女性は2054万人（女性人口の32.6%）と、女性が男性より483万人多くなっています。

人口性比（女性100人に対する男性の数）をみると、15歳未満では105.0、15～64歳では103.4と男性が多いのに対し、65歳以上では76.5と女性が多くなっています。

年齢階級別に詳しくみると、70歳以上人口は2911万人（総人口の23.7%）で、前年に比べ8万人増（0.1ポイント上昇）、75歳以上人口は2168万人（同17.7%）で、前年に比べ43万人増（0.5ポイント上昇）、80歳以上人口は1288万人（同10.5%）で、前年に比べ3万人減（同率）となりました。（表1）

表1 年齢3区分別人口及び割合（2025年、2026年）－ 9月15日現在

区 分	総人口	15歳未満	15～64歳	65歳以上	うち 70歳以上	うち 75歳以上	うち 80歳以上	うち 85歳以上	うち 90歳以上	うち 95歳以上	うち 100歳以上
2026年											
人 口（万人）											
男女計	12262	1313	7324	3624	2911	2168	1288	720	306	82	9
男	5966	672	3723	1571	1223	871	473	237	83	17	1
女	6295	641	3601	2054	1688	1297	815	483	223	65	8
総人口に占める割合（%）											
男女計	100.0	10.7	59.7	29.6	23.7	17.7	10.5	5.9	2.5	0.7	0.1
男	100.0	11.3	62.4	26.3	20.5	14.6	7.9	4.0	1.4	0.3	0.0
女	100.0	10.2	57.2	32.6	26.8	20.6	12.9	7.7	3.5	1.0	0.1
人口性比※	94.8	105.0	103.4	76.5	72.4	67.1	58.0	49.1	37.5	25.9	15.9
2025年											
人 口（万人）											
男女計	12321	1348	7351	3622	2903	2125	1291	691	291	76	9
男	5995	691	3735	1570	1220	851	474	225	78	15	1
女	6326	658	3616	2052	1684	1274	817	466	213	61	8
総人口に占める割合（%）											
男女計	100.0	10.9	59.7	29.4	23.6	17.2	10.5	5.6	2.4	0.6	0.1
男	100.0	11.5	62.3	26.2	20.3	14.2	7.9	3.8	1.3	0.3	0.0
女	100.0	10.4	57.2	32.4	26.6	20.1	12.9	7.4	3.4	1.0	0.1
人口性比※	94.8	105.0	103.3	76.5	72.4	66.9	58.0	48.3	36.5	25.0	14.5

資料：「人口推計」

※）女性100人に対する男性の数

注1）2026年は概算値から推計した値、2025年は令和2年国勢調査を基準とする確定値から推計した値である。

注2）表中の数値は、単位未満を四捨五入しているため、合計の数値と内訳の計が一致しない場合がある。

（以下この章において同じ。）

総人口に占める65歳以上人口の割合の推移をみると、1950年（4.9%）以降一貫して上昇が続いており、1985年に10%、2005年に20%を超え、2026年は29.6%と過去最高を更新しています。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、この割合は今後も上昇を続け、第2次ベビーブーム期（1971年～1974年）に生まれた世代が65歳以上となる2040年には34.8%、2050年には37.1%になると見込まれています。（図1、表2）

図1 65歳以上人口及び割合の推移（1950年～2050年）

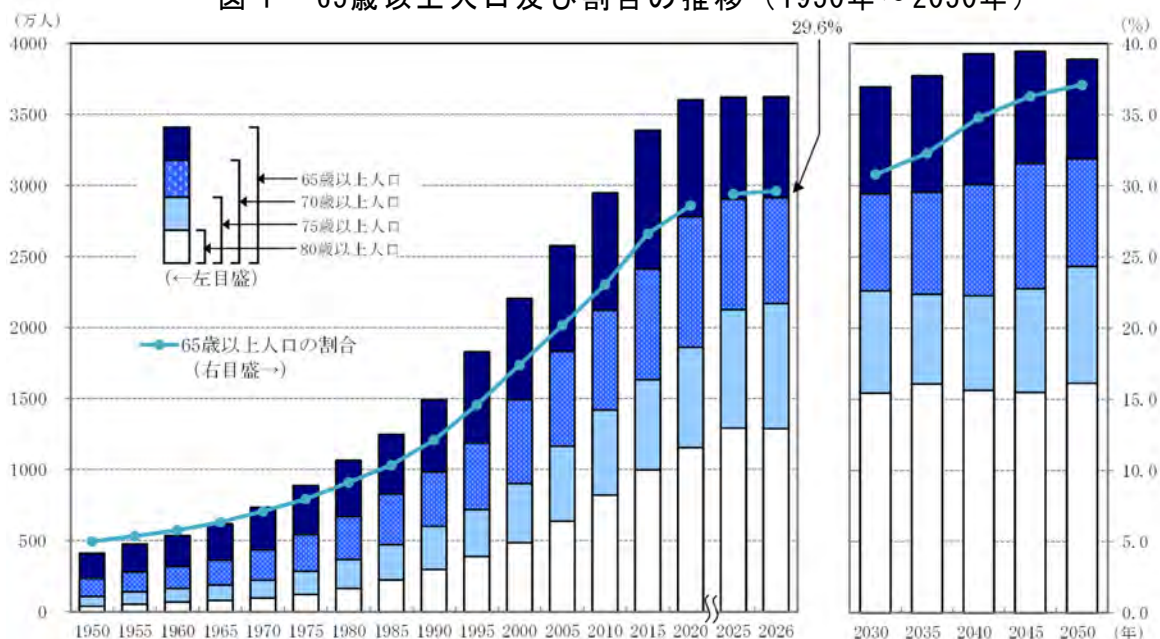


表2 65歳以上人口及び割合の推移（1950年～2050年）

年次	総人口 (万人)	65歳以上				総人口に占める割合 (%)			
		65歳以上	うち 70歳以上	うち 75歳以上	うち 80歳以上	65歳以上	うち 70歳以上	うち 75歳以上	うち 80歳以上
1950年	8320	411	234	106	37	4.9	2.8	1.3	0.4
1955	8928	475	278	139	51	5.3	3.1	1.6	0.6
1960	9342	535	319	163	67	5.7	3.4	1.7	0.7
1965	9827	618	362	187	78	6.3	3.7	1.9	0.8
1970	10372	733	435	221	95	7.1	4.2	2.1	0.9
1975	11194	887	542	284	120	7.9	4.8	2.5	1.1
1980	11706	1065	669	366	162	9.1	5.7	3.1	1.4
1985	12105	1247	828	471	222	10.3	6.8	3.9	1.8
1990	12361	1493	981	599	296	12.1	7.9	4.8	2.4
1995	12557	1828	1187	718	388	14.6	9.5	5.7	3.1
2000	12693	2204	1492	901	486	17.4	11.8	7.1	3.8
2005	12777	2576	1830	1164	636	20.2	14.3	9.1	5.0
2010	12806	2948	2121	1419	820	23.0	16.6	11.1	6.4
2015	12709	3387	2411	1632	997	26.6	19.0	12.8	7.8
2020	12615	3603	2779	1860	1154	28.6	22.0	14.7	9.1
2025	12321	3622	2903	2125	1291	29.4	23.6	17.2	10.5
2026	12262	3624	2911	2168	1288	29.6	23.7	17.7	10.5
2030	12012	3696	2944	2261	1544	30.8	24.5	18.8	12.9
2035	11664	3773	2955	2238	1607	32.3	25.3	19.2	13.8
2040	11284	3928	3009	2227	1562	34.8	26.7	19.7	13.8
2045	10880	3945	3157	2277	1548	36.3	29.0	20.9	14.2
2050	10469	3888	3189	2433	1612	37.1	30.5	23.2	15.4

資料：1950年～2020年は「国勢調査」、2025年及び2026年は「人口推計」

2030年以降は「日本の将来推計人口（令和5年推計）」出生（中位）死亡（中位）推計

（国立社会保障・人口問題研究所）から作成

注1）2025年及び2026年は9月15日現在、その他の年は10月1日現在

注2）国勢調査による人口及び割合は、2015年までは年齢不詳をあん分した結果、2020年は不詳補完結果

注3）1970年までは沖縄県を含まない。

◆「人口推計」の詳しい結果は、次のURLを御覧ください。

<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.html>

人口推計

検索

日本の 65 歳以上人口の割合は、世界で最高（39 か国中）

人口4000万以上の39か国について、2026年の総人口に占める65歳以上人口の割合を比較すると、日本（29.6%）が最も高く、次いでイタリア（25.6%）、ドイツ（24.2%）、フランス（22.9%）などとなっています。（表3）

表3 65歳以上人口の割合（上位10か国）（2026年）

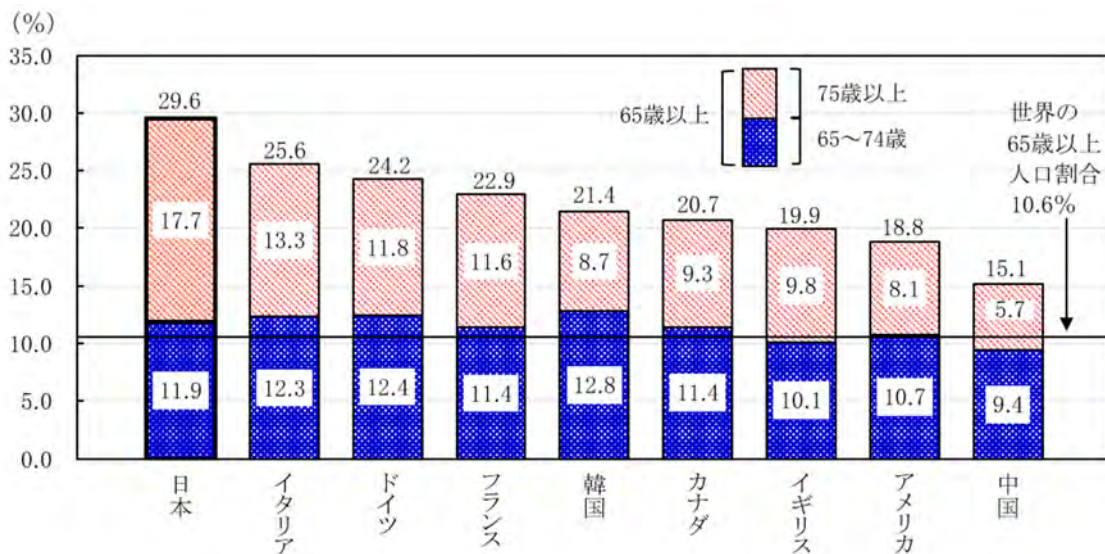
順位	国名	総人口 (万人)	65歳以上人口 (万人)	総人口に占める 65歳以上人口の割合 (%)
1	日本	12262	3624	29.6
2	イタリア	5893	1508	25.6
3	ドイツ	8364	2028	24.2
4	フランス	6675	1530	22.9
5	スペイン	4785	1060	22.2
6	韓国	5160	1106	21.4
7	カナダ	4047	839	20.7
8	イギリス	6993	1394	19.9
9	アメリカ	34904	6576	18.8
10	ロシア	14339	2634	18.4

資料：日本の値は、「人口推計」の2026年9月15日現在

他国の値は、*World Population Prospects: The 2024 Revision* (United Nations) における将来推計から、人口4000万以上の39か国の2026年7月1日現在の推計値

主要国における2026年の65歳以上人口の割合及び75歳以上人口の割合を比較すると、日本が最も高くなっています。（図2）

図2 主要国における65歳以上人口の割合の比較（2026年）



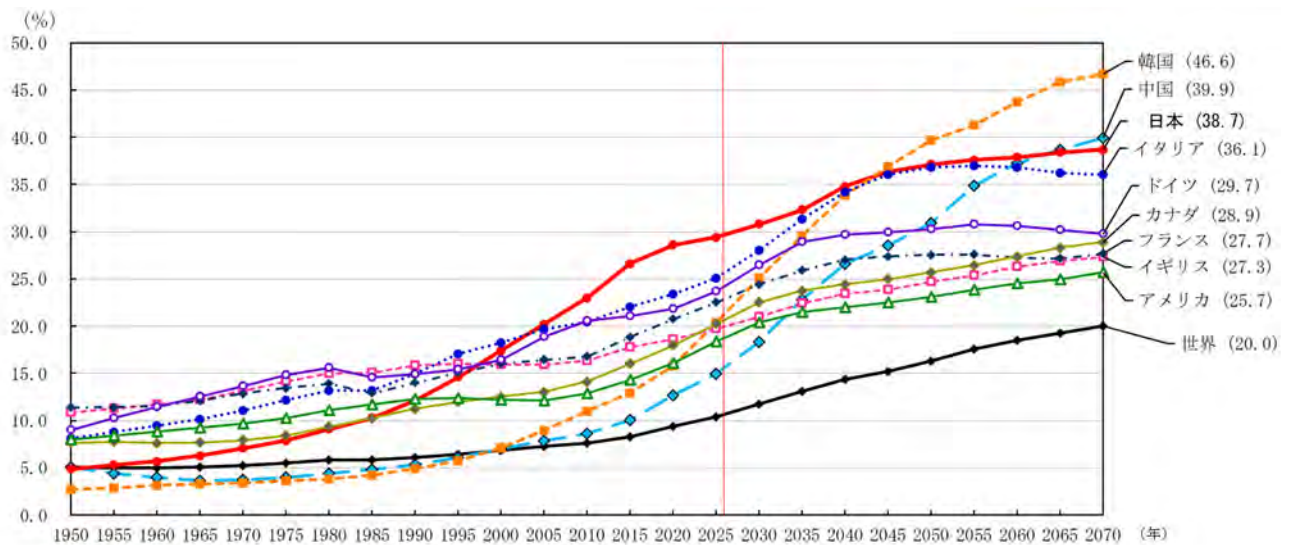
資料：日本の値は、「人口推計」の2026年9月15日現在

他国の値は、*World Population Prospects: The 2024 Revision* (United Nations) における将来推計から、2026年7月1日現在の推計値

主要国における 65 歳以上人口の割合の推移をみると、各国とも上昇傾向となっています。

(図 3)

図 3 主要国における 65 歳以上人口の割合の推移 (1950 年～2070 年)



資料：日本の値は、2020 年までは「国勢調査」、2025 年は「人口推計」、2030 年以降は「日本の将来推計人口（令和 5 年推計）」出生（中位）死亡（中位）推計（国立社会保障・人口問題研究所）の各年 10 月 1 日現在の推計値
他国の値は、*World Population Prospects: The 2024 Revision* (United Nations) 各年 7 月 1 日現在の推計値

◆詳しい結果は、以下の URL を御覧ください。

人口推計 : <https://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.html>

World Population Prospects : <https://population.un.org/wpp/>

人口推計

検索

Ⅱ 高齢者の就業

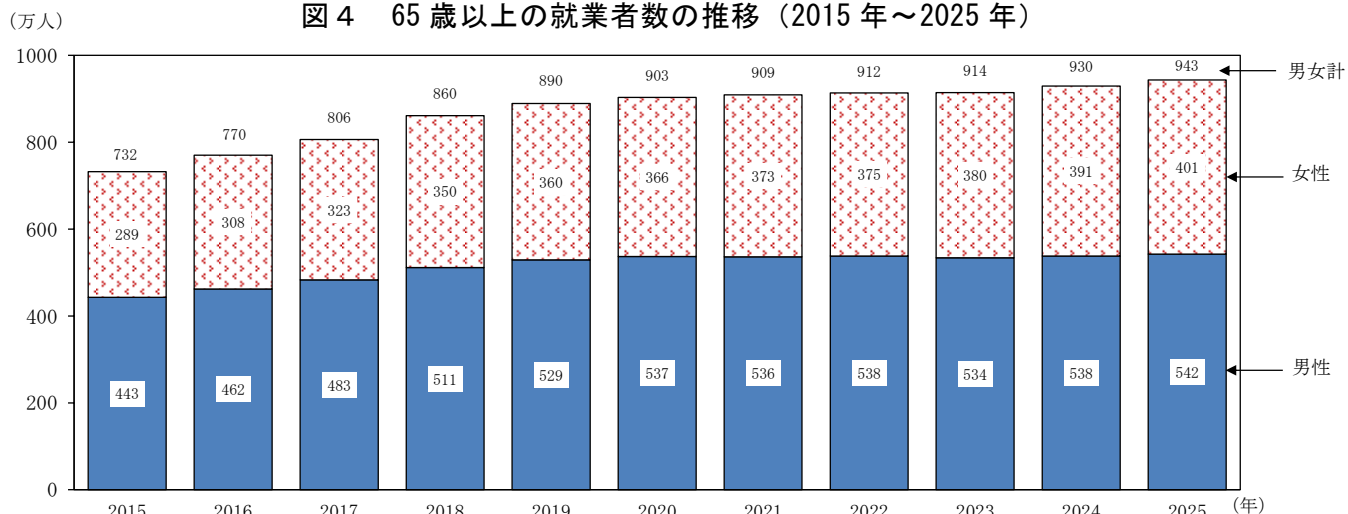
65歳以上の就業者数は、22年連続で増加し943万人と過去最多

2025年の65歳以上の就業者数^{※1)}数は、2004年以降、22年連続で前年に比べ増加し、943万人と過去最多^{※2)}となっています。(図4)

※1) 就業者とは、月末1週間に収入を伴う仕事を1時間以上した者、又は月末1週間に仕事を休んでいた者

※2) 比較可能な1968年以降

図4 65歳以上の就業者数の推移(2015年～2025年)



資料：「労働力調査」(基本集計)

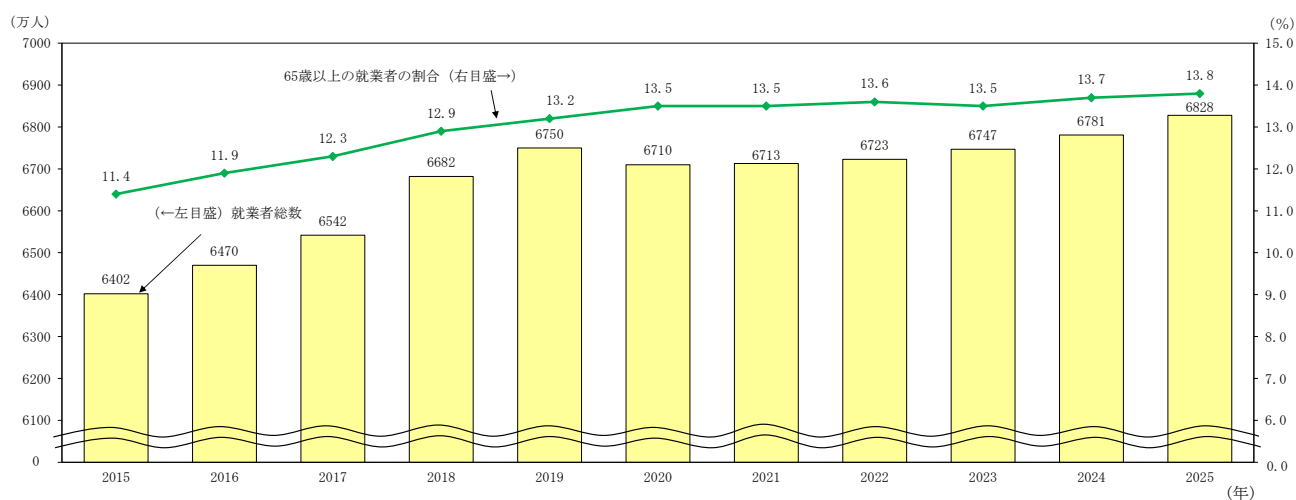
注) 数値は、単位未満を四捨五入しているため、合計の数値と内訳の計が一致しない場合がある。

就業者総数に占める65歳以上の就業者の割合は、13.8%と過去最高

2025年の15歳以上の就業者総数に占める65歳以上の就業者の割合は13.8%と、前年に比べ0.1ポイント上昇し、過去最高^{※3)}となっています。就業者のおよそ7人に1人が65歳以上となっています。(図5)

※3) 比較可能な1968年以降

図5 就業者総数に占める65歳以上の就業者の割合の推移(2015年～2025年)



資料：「労働力調査」(基本集計)

65歳以上の年齢階級別就業率は、いずれも過去最高に

2025年の65歳以上の就業率^{※4)}は26.0%となり、前年に比べ0.3ポイント上昇しました。

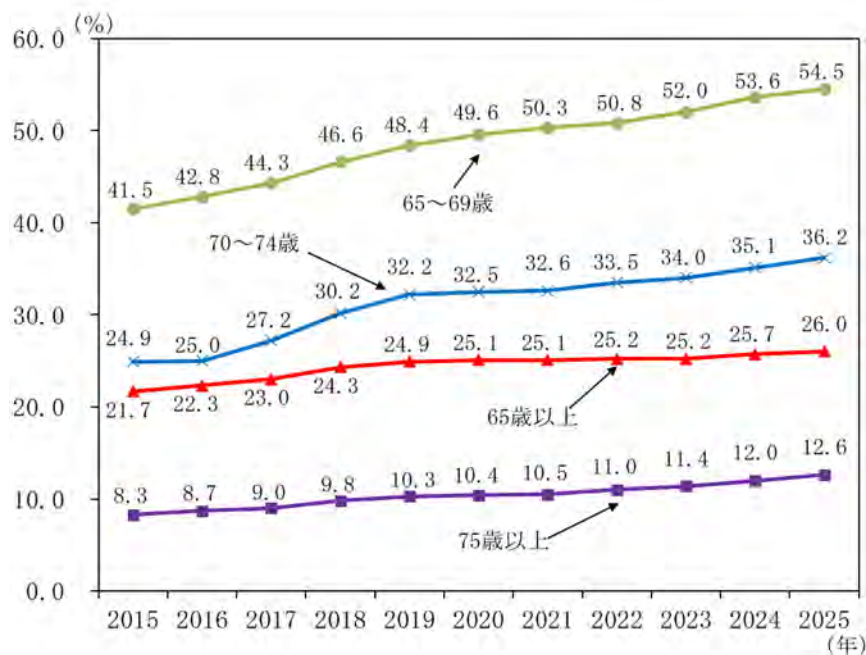
年齢階級別^{※5)}にみると、65～69歳は54.5%、70～74歳は36.2%、75歳以上は12.6%と、いずれも過去最高^{※6)}となっています。(図6)

※4) 65歳以上の就業率は、65歳以上人口に占める65歳以上の就業者の割合

※5) 年齢階級別就業率は、各年齢階級の人口に占める就業者の割合

※6) 65～69歳は比較可能な1968年以降、70～74歳、75歳以上は比較可能な1978年以降

図6 65歳以上の年齢階級別就業率の推移(2015年～2025年)

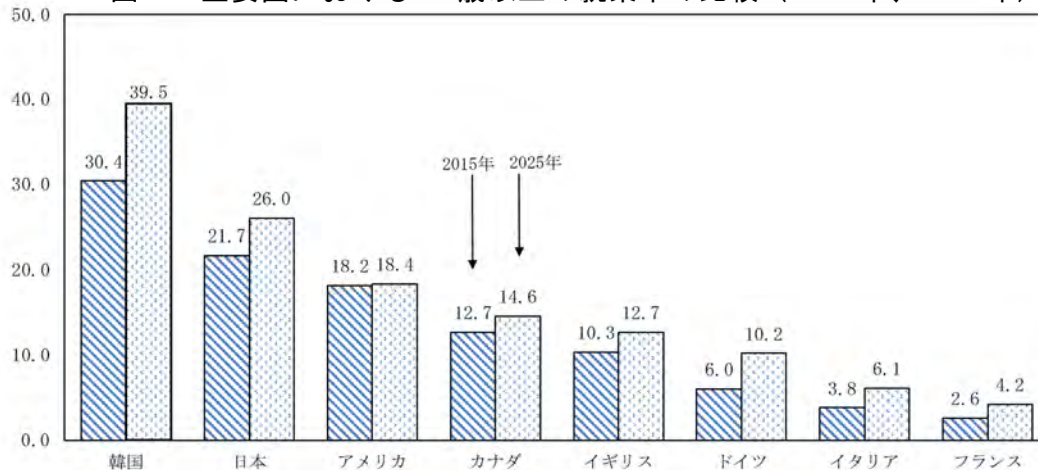


資料：「労働力調査」(基本集計)

日本の65歳以上の就業率は、主要国の中でも高い水準

主要国における65歳以上の就業率を10年前と比較すると、韓国(+9.1ポイント)、日本(+4.3ポイント)を始め、各国とも上昇しています。2025年の日本の65歳以上の就業率は26.0%となっており、主要国の中でも高い水準にあります。(図7)

図7 主要国における65歳以上の就業率の比較(2015年、2025年)

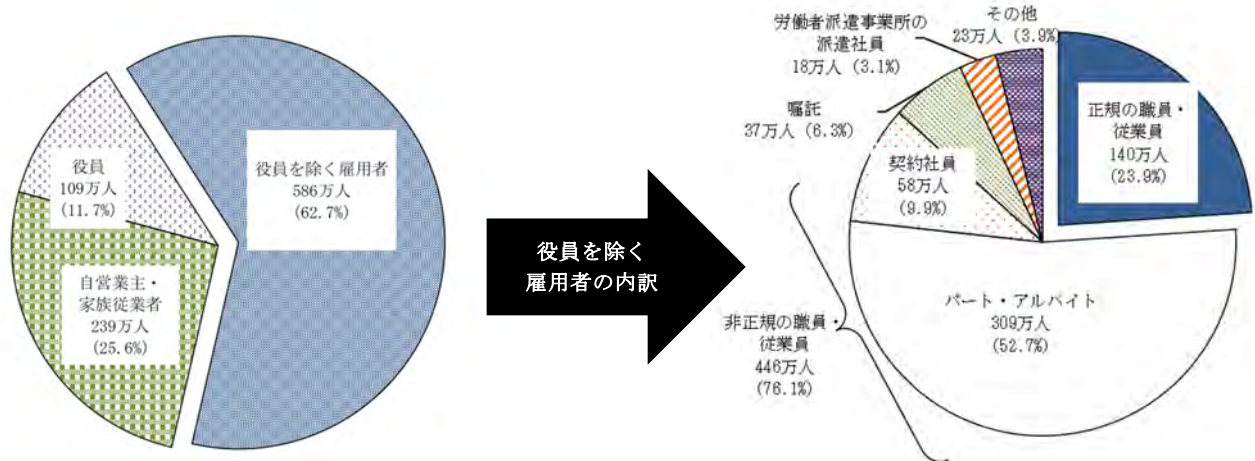


資料：日本の値は、「労働力調査」(基本集計)、他国は、OECD.Stat

65歳以上の役員を除く雇用者に占める非正規の職員・従業員の割合は76.1%

2025年の65歳以上の就業者を従業上の地位別にみると、役員を除く雇用者が586万人で65歳以上の就業者の62.7%、自営業主・家族従業者が239万人で同25.6%、会社などの役員が109万人で同11.7%となっています。さらに65歳以上の就業者のうち役員を除く雇用者を雇用形態別にみると、正規の職員・従業員が140万人で23.9%、非正規の職員・従業員が446万人で76.1%を占めており、うちパート・アルバイトが309万人で52.7%となっています。（図8）

図8 65歳以上の従業上の地位別就業者及び雇用形態別役員を除く雇用者の内訳（2025年）



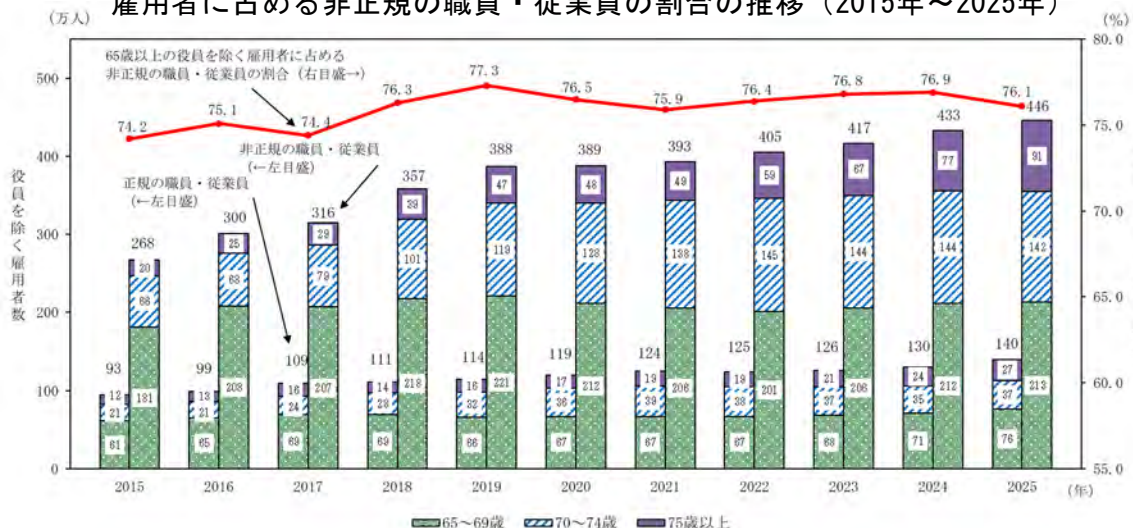
資料：「労働力調査」（基本集計）
注）割合は内訳の合計に占める割合

注）割合は正規及び非正規の職員・従業員の合計に占める各項目の割合

また、正規及び非正規の職員・従業員数について10年前と比較すると、正規の職員・従業員数は47万人増、非正規の職員・従業員数は178万人増となりました。

年齢階級別にみると、正規の職員・従業員数は、65～69歳が76万人（10年前に比べ15万人増）、70～74歳が37万人（同16万人増）、75歳以上が27万人（同15万人増）となっています。非正規の職員・従業員数は、65～69歳が213万人（10年前に比べ32万人増）、70～74歳が142万人（同76万人増）、75歳以上が91万人（同71万人増）となっています。（図9）

図9 年齢階級、雇用形態別65歳以上の役員を除く雇用者数及び65歳以上の役員を除く雇用者に占める非正規の職員・従業員の割合の推移（2015年～2025年）



資料：「労働力調査」（基本集計）

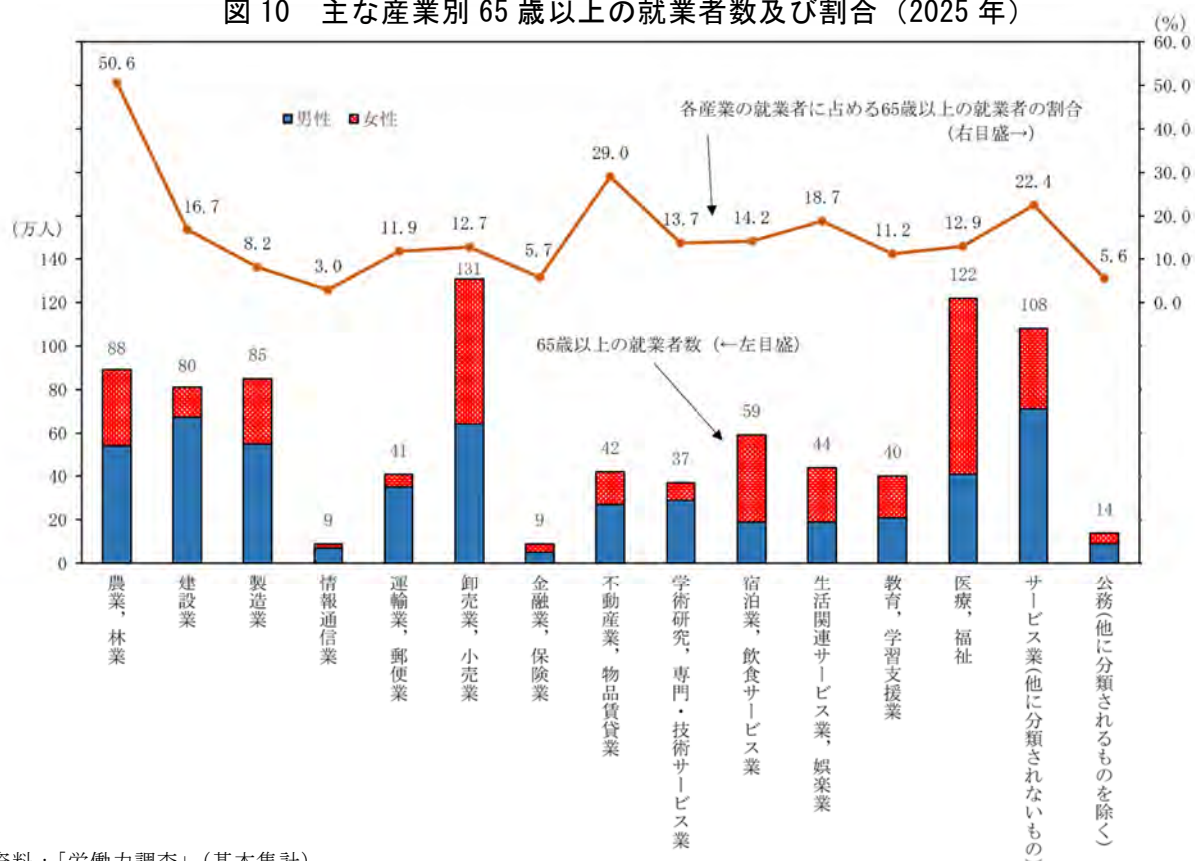
注）実数は時系列接続用数値を算出して作成している。割合は既公表値から算出しているため数値が一致しない場合がある。

主な産業別に65歳以上の就業者数をみると、「卸売業，小売業」や「医療，福祉」などで多い

2025年の65歳以上の就業者数を主な産業別にみると、「卸売業，小売業」が131万人と最も多く、次いで「医療，福祉」が122万人、「サービス業（他に分類されないもの）」が108万人、「農業，林業」が88万人などとなっています。

なお、各産業の就業者に占める65歳以上の就業者の割合をみると、「農業，林業」が50.6%と最も高く、次いで「不動産業，物品賃貸業」が29.0%、「サービス業（他に分類されないもの）」が22.4%、「生活関連サービス業，娯楽業」が18.7%などとなっています。（図10）

図 10 主な産業別 65 歳以上の就業者数及び割合（2025 年）



資料：「労働力調査」（基本集計）

◆詳しい結果は、以下のURLを御覧ください。

労働力調査：<https://www.stat.go.jp/data/roudou/index.html>

OECD.Stat：<https://stats.oecd.org/>

労働力調査

検索



【問合せ先】

総務省統計局統計調査部
〒162-8668 東京都新宿区若松町 19 番 1 号



I 高齢者の人口

(人口推計)

国勢統計課人口推計係

(World Population Prospects)

調査企画課企画係

TEL: (03) 5273-1009

E-Mail: c-suikei@soumu.go.jp

TEL: (03) 5273-1159

E-Mail: r-kikaku@soumu.go.jp

II 高齢者の就業

(労働力調査)、(OECD.Stat)

労働力人口統計室審査発表第一係

TEL: (03) 5273-1162

E-Mail: l-shinsai@soumu.go.jp

【全体に関する問合せ】調査企画課企画係

※統計データを引用・転載する場合には、出典の表記をお願いします。

総務省統計局ホームページ <https://www.stat.go.jp/>

統計局

検索

◆ この冊子は、次の URL からダウンロードできます。

<https://www.stat.go.jp/data/topics/topi1490.html>